

マナーとルールは「人間力」の第一歩

# 文部科学省後援 マナーキッズ®プロジェクトのご案内

## 体育・道徳融合授業開催で “学校が変わります”

マナーキッズ®プロジェクトは、  
スポーツや文化活動を通じ  
＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを  
育てるNPOです。



## すでに、44都道府県・約55,000人が参加

(幼稚園園児・小学校児童)

プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける＜体育＞、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる＜徳育＞、運動で知性を育む＜知育＞を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ています。

### ♡ 講師紹介

#### 鈴木 万亀子 (小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範)

小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、的伝総師範を賜る。玉川女子短期大学にて10年、講師を歴任。現在、中学校3校の道徳講師を務める。霞会館、白金教場、小笠原伯爵邸、西武コミュニティーカレッジ、その他において後輩を育成するかたわら、警視庁出版物執筆、映画「たそがれ清兵衛」「武士の一分」その他、TVドラマで所作指導。小笠原流茶道古流、山田流箏曲、華道も教授し、企業研修指導も行う。現在、認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト理事として、マナーキッズテニス、マナーキッズスポーツの他、文化面においてもマナー指導、中学生へのマナー講義、保護者向け「家庭内の躰」について講義を行う。

#### 田中 日出男 (認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長)

平成8年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学庭球部小学生テニス教室を開始。三菱化学株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成16年4月、財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトの実験を開始。平成17年4月、同プロジェクトディレクター、平成19年6月からNPO法人マナーキッズプロジェクト 理事長、インパクトコンサルティング顧問。

### ♡ 後援・協力・特別協賛・協賛

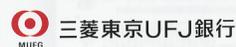
#### 後援

文部科学省  
財団法人日本体育協会(マナーキッズスポーツ教室)  
財団法人日本テニス協会(マナーキッズテニス教室)

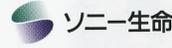
#### 協力

小笠原流礼法 鈴木 万亀子総師範  
社団法人日本テニス事業協会(マナーキッズテニス教室)  
社団法人日本プロテニス協会(マナーキッズテニス教室)  
NPO法人日本シニアテニス連盟(マナーキッズテニス教室)  
日本女子テニス連盟(マナーキッズテニス教室)

#### 特別協賛



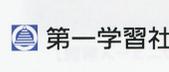
#### 協賛



日本児童教育振興財団

TEIJIN

三菱商事



(平成23年3月末現在)

### ♡ 体育・道徳融合授業 他 申込先、お問合せは



認定NPO法人  
マナーキッズ®プロジェクト

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階  
TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580  
E-mail: office365@mannerkids.or.jp  
URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

HPで教室の様子を  
動画で  
ご覧いただけます。

裏面へ

# マナーキッズ®プロジェクトは、 スポーツや文化活動を通じ<体・徳・知>バランスのよい 子どもを育てるNPOです。

子どもたちは、いわば「未来からの留学生」です。次代を担うその子どもたちが「人間らしく成長」していくために、私たち大人は何をなすのでしょうか。今、あちこちで共同体が消滅しています。そのために、子どもたちの人間関係はやせ細っていくばかりです。豊かな人間性は豊かな人間関係を通じてのみ培われるという「社会化の装置」がうまく機能しなくなった結果でしょう。人と人がきちんと向き合う。そして人間らしく生きる。そのための第一歩は、挨拶や礼儀などのマナーをきちんと身につけ、しっかりとルールを守ることにあります。

## ♡ 開催小学校からの反響

### 挨拶する児童の比率が大幅アップ (東京都杉並区立三谷小学校)

子どもの「以前から挨拶している」割合は、平均36%であったが、「よくするようになった」「少しするようになった」という挨拶の質が向上した子どもの割合が平均54%と合計で90%に達した。

### 教師の意識・指導が変わった (青森県八戸市立新井田小学校)

- ・子どもの様子を見てすぐ叱るのではなく、「マナーはどうか?」「迷惑をかけていないかな?」というキーワードを投げかけ、考えさせるようになった。
- ・自分自身も「子どもの前できちんとした振る舞いをしなくては」と意識するようになった。
- ・全校生徒が鈴木総師範のお話を聞いたので、全校一貫した指導ができるようになった。「鈴木先生に教えていただいた立ち方をしてごらん」というだけで、638人の子どもたちが凛とした姿で立てるようになった。

### 子どもの意識が変わった (青森県八戸市立新井田小学校)

- ・授業の始めと終わりの挨拶では、教師の目を見て挨拶できるようになった。
- ・朝食をしっかりと食べられるようになった。
- ・地域や校内ですれ違う時の挨拶がとてよくなった。
- ・明るい顔、場にあった声、腰の折り方など本当によくなった。

## ♡ マナーキッズ®プロジェクト研究 中間発表

筑波大学大学院人間総合科学研究科 大森 肇准教授

受講した子どもたちは、全員がプログラムの前後で顕著な変化が見られることから、子どもたちの変容を客観的に捉えることが研究の目的。心理的な気分尺度測定の結果「マナーキッズ教室は、子供の感情を改善する。」ことが分かりました。「混乱・緊張、不安など」のネガティブな指標は低下、ポジティブな指標「活気」は上昇する中で、日本の伝統的な礼法を習得することが、大きな成果を挙げている一因と考えられます。

## ♡ メディア掲載



NHK「暮らしの中のニュース解説」



読売新聞



日本教育新聞

他、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌で多数紹介

## 「マナーコミュニティ®」モデル市町村募集

子どもは「教えれば変わる」「教えれば挨拶できるようになる」「礼儀正しさのDNAは残っている」課題は、それが持続できるよう、家庭・学校・地域社会のフォローが不可欠。「マナーコミュニティ®」で商標登録を取得。町あげて「挨拶運動」(大都市では、1中学校学区の全小学校、全幼稚園他)を展開するモデル市町村募集。

「マナーキッズ」、「e-マナーキッズ」、「マナーコミュニティ」、「キャラクターの図形」「図形(ハート)」は、認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクトの商標登録です。

## 体育道徳融合授業の 開催事例 (2時限=90分)



姿勢を正しく、相手の目を見ながら元気よく大きな声で自己紹介



小笠原流礼法の鈴木万亀子総師範により正しいお辞儀を練習



「よろしくお願いします」「ありがとうございます」と、繰り返し挨拶



マナーキッズ教室が終わると全員で後片付けと掃除



修了証書授与では、しっかり相手の目を見て「ありがとうございます」



教室の最後に、指導者全員に目を見て、お礼の握手